

(4) 2018年度の財務の概要

2018年度は、事業計画に基づく経常的な活動に加え、神田4号館新学部設置に伴う改修工事、神田一ツ橋キャンパス再整備に伴う改修工事、八王子2号館天井耐震工事、共立女子中学高等学校 ICT 機器導入等、教育研究環境の整備を実施した。

1. 収支決算状況

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書とは、会計年度の諸活動（教育研究活動等）に対応するすべての収入および支出の内容、並びに支払資金の収入および支出のてん末を明らかにしたものである。

表1 資金収支計算書

(単位:千円)

科目名	説明番号	2017年度 決算①	2018年度				対2017年度		
			予算②	決算③	増減額 ③-②	増減率(%) ③/②	増減額 ③-①	増減率(%) ③/①	
A 収入の部	学生生徒等納付金収入	1	8,660,248	8,456,920	8,434,620	△ 22,299	99.7%	△ 225,628	97.4%
	手数料収入	2	275,116	271,862	295,390	23,528	108.7%	20,274	107.4%
	寄付金収入	3	110,381	90,910	87,203	△ 3,707	95.9%	△ 23,178	79.0%
	補助金収入	4	1,779,189	1,762,570	1,826,367	63,798	103.6%	47,178	102.7%
	資産売却収入	5	201,374	54,000	54,000	0	100.0%	△ 147,374	
	付随事業・収益事業収入		24,224	22,310	29,533	7,223	132.4%	5,309	121.9%
	受取利息・配当金収入	6	128,640	140,247	142,465	2,218	101.6%	13,825	110.7%
	雑収入	7	576,474	480,738	486,154	5,416	101.1%	△ 90,320	84.3%
	借入金等収入		0	0	0	0		0	
	前受金収入		1,295,305	1,303,920	1,286,476	△ 17,444	98.7%	△ 8,829	99.3%
	その他の収入	8	1,626,481	1,512,476	1,510,026	△ 2,450	99.8%	△ 116,455	92.8%
	資金収入調整勘定		△ 2,057,477	△ 1,754,851	△ 1,763,212	△ 8,361	100.5%	294,265	85.7%
	前年度繰越支払資金		4,229,457	3,809,942	3,809,942	0	100.0%	△ 419,515	90.1%
	収入の部合計		16,849,410	16,151,042	16,198,963	47,921	100.3%	△ 650,447	96.1%
B 支出の部	人件費支出	9	6,702,731	6,632,308	6,469,243	△ 163,066	97.5%	△ 233,488	96.5%
	教育研究経費支出	10	2,499,263	2,487,787	2,420,052	△ 67,734	97.3%	△ 79,211	96.8%
	管理経費支出	11	490,231	736,939	666,211	△ 70,728	90.4%	175,980	135.9%
	借入金等利息支出		10,000	8,333	8,333	0	100.0%	△ 1,667	83.3%
	借入金等返済支出		83,330	83,330	83,330	0	100.0%	0	100.0%
	施設関係支出	12	182,270	243,000	241,629	△ 1,371	99.4%	59,359	132.6%
	設備関係支出	13	265,484	191,888	158,449	△ 33,439	82.6%	△ 107,035	59.7%
	資産運用支出	14	2,820,889	2,500,000	2,534,955	34,955	101.4%	△ 285,934	89.9%
	その他の支出		90,445	114,118	120,001	5,883	105.2%	29,556	132.7%
	[予備費]			100,000		△ 100,000			
	資金支出調整勘定		△ 105,173	△ 106,330	△ 101,662	4,669	95.6%	3,511	96.7%
翌年度繰越支払資金		3,809,942	3,159,670	3,598,422	438,751	113.9%	△ 211,520	94.4%	
支出の部合計		16,849,410	16,151,042	16,198,963	47,921	100.3%	△ 650,447	96.1%	
当期の資金収入: Aの合計		12,619,953		12,389,022					
当期の資金支出: Bの合計		13,039,469		12,600,541					
支払資金の増減額 A-B		△ 419,516		△ 211,519					

注) 千円単位で表示するに当たり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合がある。

当年度の活動を通して、支払資金は2億12百万円減少し、翌年度への繰越支払資金は、35億98百万円となった。主な科目における説明は、次の通りである、なお、説明文の順番は表中の説明番号と対応している。

【収入の部】

1. 学生生徒等納付金収入

予算比 99.7%の84億35百万円
(前年度決算比 Δ2億26百万円)

5月1日現在の学生生徒園児数は、8,079名(前年度比191名減)であった。

2. 手数料収入

予算比 108.7%の2億95百万円
(前年度決算比 +20百万円)

2019年度の志願者数は10,871名(前年度比785名増)であった。

3. 寄付金収入

予算比 95.9%の87百万円
(前年度決算比 Δ23百万円)

一般寄付金は29百万円、特別寄付金は58百万円であった。その内訳は、サポーターズ募金36百万円、共立女子大学・短期大学後援会22百万円、櫻友会1百万円、古本募金12万円となった。

4. 補助金収入

予算比 103.6%の18億26百万円
(前年度決算比 +47百万円)

国庫補助金は、予算5億95百万円に対して、決算6億60百万円であった。共立女子大学では、私立大学等改革総合支援事業タイプ1に、共立女子大学・短期大学では、タイプ5に選定された。

地方公共団体補助金は、予算11億68百万円に対して、決算11億67百万円であった。このうち併設校の経常費補助金は、9億93百万円である。

5. 資産売却収入

予算比 100%の54百万円
(前年度決算比 Δ1億47百万円)

資産売却収入は、八王子東浅川町の職員用駐車場土地売却による54百万円である。

6. 受取利息・配当金収入

予算比 101.6%の1億42百万円
(前年度決算比 +14百万円)

第3号基本金引当特定資産運用収入は39百万円であった。

7. 雑収入

予算比 101.1%の4億86百万円
(前年度決算比 Δ90百万円)

私立大学退職金財団交付金3億61百万円、私学財団退職交付金1億4百万円を含む。

8. その他収入

予算比 99.8%の15億10百万円
(前年度決算比 Δ1億16百万円)

特定資産9億40百万円を取崩し当年度の収入とした。その内訳は減価償却引当特定資産取崩収入3億49百万円、施設拡充引当特定資産取崩収入5億32百万円、教育活動充実引当特定資産取崩収入59百万円である。

特定資産により、神田4号館新学部設置に伴う改修工事、八王子2号館天井落下防止対策補強工事、神田一ツ橋キャンパス再整備に伴う改修工事、共立女子中学高等学校ICT機器導入、本館4階食堂厨房機器導入等を行った。

【支出の部】

9. 人件費支出

予算比 97.5%の64億69百万円
(前年度決算比 Δ2億33百万円)

教員人件費45億38百万円、職員人件費12億15百万円、退職金6億86百万円となり、前年度比較で教員人件費は30百万円減、職員人件費は1億18百万円減となった。

10. 教育研究経費支出

予算比 97.3%の24億20百万円
(前年度決算比 Δ79百万円)

主な支出は、消耗品費、光熱水費、印刷費等各設置校および事務局の経常的な教育研究経費である。

11. 管理経費支出

予算比 90.4%の6億66百万円
(前年度決算比 +1億76百万円)

教育研究経費同様の経常的な管理経費である。神田4号館改修工事を含む。

12. 施設関係支出

予算比 99.4%の2億42百万円
(前年度決算比 +59百万円)

主な支出は、神田4号館改修工事、神田一ツ橋キャンパス再整備に伴う工事他である。

13. 設備関係支出

予算比 82.6%の1億58百万円
(前年度決算比 Δ1億7百万円)

教育研究用機器備品支出は、神田1号館・3号館の教育環境充実のための機器備品他である。管理用機器備品支出は、神田本館食堂厨房機器他である。

14. 資産運用支出

予算比 101.4%の25億35百万円
(前年度決算比 Δ2億86百万円)

特定資産へ25億35百万円を組み入れた。その内訳は、減価償却引当特定資産へ12億円、施設拡充引当特定資産へ11億円、教育活動充実引当特定資産へ2億円、奨学基金引当特定資産へ4百万円等である。

主な施設設備等事項

- ① 神田 4 号館新学部設置に伴う改修工事
- ② 神田 4 号館耐震診断及び耐震設計
- ③ 神田一ツ橋キャンパス再整備に伴う各所工事
- ④ 神田本館水令式パッケージエアコン更新工事
- ⑤ 神田本館食堂厨房機器導入
- ⑥ 共立女子中学高等学校 I C T 機器導入
- ⑦ 八王子 2 号館天井落下防止対策補強工事

(2) 活動区分資金収支計算書

表 2 の活動区分資金収支計算書とは、資金収支計算書に記載される資金収入および資金支出の決算額を、教育活動 (A)、施設整備等活動 (B)、その他の活動 (C) (主に財務活動) に区分して記載している。

この区分経理は、企業会計のキャッシュ・フロー計算書に相当するもので、区分ごとの資金の増加や減少を明確に表示する。教育活動資金収支差額 (A) は、学校の本来活動における収支差額でプラスになることが望ましいと言われている。

表 2 活動区分資金収支計算書

(単位:千円)

科 目		金 額	
教育活動による資金収支 (A)	収入	学生生徒等納付金収入	8,434,620
		手数料収入	295,390
		特別寄付金収入	58,448
		一般寄付金収入	28,755
		経常費等補助金収入	1,738,527
		付随事業収入	29,533
		雑収入	486,154
	教育活動資金収入計	11,071,427	
	支出	人件費支出	6,469,243
		教育研究経費支出	2,420,052
管理経費支出		665,437	
教育活動資金支出計	9,554,732		
差引	1,516,695		
調整勘定等	65,974		
教育活動資金収支差額	1,582,669		
施設整備等活動による資金収支 (B)	収入	施設設備補助金収入	87,840
		施設設備売却収入	54,000
		施設拡充引当特定資産取崩収入	532,000
		減価償却引当特定資産取崩収入	349,000
		教育活動充実引当特定資産取崩収入	59,000
	施設整備等活動資金収入計	1,081,840	
	支出	施設関係支出	241,629
		設備関係支出	158,449
		施設拡充引当特定資産繰入支出	1,100,000
		減価償却引当特定資産繰入支出	1,200,000
教育活動充実引当特定資産繰入支出		200,000	
施設整備等活動資金支出計	2,900,078		
差引	△ 1,818,238		
調整勘定等	23,478		
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,794,760		
小計 (A+B)		△ 212,091	
その他の活動による資金収支 (C)	収入	貸付金回収収入	510
		小計	510
		受取利息・配当金収入	142,465
		その他の活動資金収入計	142,975
	支出	借入金等返済支出	83,330
		有価証券購入支出	31,173
		奨学基金引当特定資産繰入支出	3,782
		貸付金支払支出	250
		預り金支払支出	14,762
		小計	133,297
借入金等利息支出	8,333		
過年度修正支出	773		
その他の活動資金支出計	142,404		
差引	571		
その他の活動資金収支差額	571		
支払資金の増減額(A)+(B)+(C)		△ 211,520	
前年度繰越支払資金		3,809,942	
翌年度繰越支払資金		3,598,422	

注) 千円単位で表示するに当たり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合がある。

(4) 2018年度の財務の概要

2018年度は、事業計画に基づく経常的な活動に加え、神田4号館新学部設置に伴う改修工事、神田一ツ橋キャンパス再整備に伴う改修工事、八王子2号館天井耐震工事、共立女子中学高等学校 ICT 機器導入等、教育研究環境の整備を実施した。

1. 収支決算状況

(1) 資金収支計算書

資金収支計算書とは、会計年度の諸活動（教育研究活動等）に対応するすべての収入および支出の内容、並びに支払資金の収入および支出のてん末を明らかにしたものである。

表1 資金収支計算書

(単位:千円)

科目名	説明番号	2017年度 決算①	2018年度				対2017年度		
			予算②	決算③	増減額 ③-②	増減率(%) ③/②	増減額 ③-①	増減率(%) ③/①	
A 収入の部	学生生徒等納付金収入	1	8,660,248	8,456,920	8,434,620	△ 22,299	99.7%	△ 225,628	97.4%
	手数料収入	2	275,116	271,862	295,390	23,528	108.7%	20,274	107.4%
	寄付金収入	3	110,381	90,910	87,203	△ 3,707	95.9%	△ 23,178	79.0%
	補助金収入	4	1,779,189	1,762,570	1,826,367	63,798	103.6%	47,178	102.7%
	資産売却収入	5	201,374	54,000	54,000	0	100.0%	△ 147,374	
	付随事業・収益事業収入		24,224	22,310	29,533	7,223	132.4%	5,309	121.9%
	受取利息・配当金収入	6	128,640	140,247	142,465	2,218	101.6%	13,825	110.7%
	雑収入	7	576,474	480,738	486,154	5,416	101.1%	△ 90,320	84.3%
	借入金等収入		0	0	0	0		0	
	前受金収入		1,295,305	1,303,920	1,286,476	△ 17,444	98.7%	△ 8,829	99.3%
	その他の収入	8	1,626,481	1,512,476	1,510,026	△ 2,450	99.8%	△ 116,455	92.8%
	資金収入調整勘定		△ 2,057,477	△ 1,754,851	△ 1,763,212	△ 8,361	100.5%	294,265	85.7%
	前年度繰越支払資金		4,229,457	3,809,942	3,809,942	0	100.0%	△ 419,515	90.1%
	収入の部合計		16,849,410	16,151,042	16,198,963	47,921	100.3%	△ 650,447	96.1%
B 支出の部	人件費支出	9	6,702,731	6,632,308	6,469,243	△ 163,066	97.5%	△ 233,488	96.5%
	教育研究経費支出	10	2,499,263	2,487,787	2,420,052	△ 67,734	97.3%	△ 79,211	96.8%
	管理経費支出	11	490,231	736,939	666,211	△ 70,728	90.4%	175,980	135.9%
	借入金等利息支出		10,000	8,333	8,333	0	100.0%	△ 1,667	83.3%
	借入金等返済支出		83,330	83,330	83,330	0	100.0%	0	100.0%
	施設関係支出	12	182,270	243,000	241,629	△ 1,371	99.4%	59,359	132.6%
	設備関係支出	13	265,484	191,888	158,449	△ 33,439	82.6%	△ 107,035	59.7%
	資産運用支出	14	2,820,889	2,500,000	2,534,955	34,955	101.4%	△ 285,934	89.9%
	その他の支出		90,445	114,118	120,001	5,883	105.2%	29,556	132.7%
	[予備費]			100,000		△ 100,000			
	資金支出調整勘定		△ 105,173	△ 106,330	△ 101,662	4,669	95.6%	3,511	96.7%
翌年度繰越支払資金		3,809,942	3,159,670	3,598,422	438,751	113.9%	△ 211,520	94.4%	
支出の部合計		16,849,410	16,151,042	16,198,963	47,921	100.3%	△ 650,447	96.1%	
当期の資金収入: Aの合計		12,619,953		12,389,022					
当期の資金支出: Bの合計		13,039,469		12,600,541					
支払資金の増減額 A-B		△ 419,516		△ 211,519					

注) 千円単位で表示するに当たり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合がある。

当年度の活動を通して、支払資金は2億12百万円減少し、翌年度への繰越支払資金は、35億98百万円となった。主な科目における説明は、次の通りである、なお、説明文の順番は表中の説明番号と対応している。

【収入の部】

1. 学生生徒等納付金収入

予算比 99.7%の84億35百万円
(前年度決算比 Δ2億26百万円)

5月1日現在の学生生徒園児数は、8,079名(前年度比191名減)であった。

2. 手数料収入

予算比 108.7%の2億95百万円
(前年度決算比 +20百万円)

2019年度の志願者数は10,871名(前年度比785名増)であった。

3. 寄付金収入

予算比 95.9%の87百万円
(前年度決算比 Δ23百万円)

一般寄付金は29百万円、特別寄付金は58百万円であった。その内訳は、サポーターズ募金36百万円、共立女子大学・短期大学後援会22百万円、櫻友会1百万円、古本募金12万円となった。

4. 補助金収入

予算比 103.6%の18億26百万円
(前年度決算比 +47百万円)

国庫補助金は、予算5億95百万円に対して、決算6億60百万円であった。共立女子大学では、私立大学等改革総合支援事業タイプ1に、共立女子大学・短期大学では、タイプ5に選定された。

地方公共団体補助金は、予算11億68百万円に対して、決算11億67百万円であった。このうち併設校の経常費補助金は、9億93百万円である。

5. 資産売却収入

予算比 100%の54百万円
(前年度決算比 Δ1億47百万円)

資産売却収入は、八王子東浅川町の職員用駐車場土地売却による54百万円である。

6. 受取利息・配当金収入

予算比 101.6%の1億42百万円
(前年度決算比 +14百万円)

第3号基本金引当特定資産運用収入は39百万円であった。

7. 雑収入

予算比 101.1%の4億86百万円
(前年度決算比 Δ90百万円)

私立大学退職金財団交付金3億61百万円、私学財団退職交付金1億4百万円を含む。

8. その他収入

予算比 99.8%の15億10百万円
(前年度決算比 Δ1億16百万円)

特定資産9億40百万円を取崩し当年度の収入とした。その内訳は減価償却引当特定資産取崩収入3億49百万円、施設拡充引当特定資産取崩収入5億32百万円、教育活動充実引当特定資産取崩収入59百万円である。

特定資産により、神田4号館新学部設置に伴う改修工事、八王子2号館天井落下防止対策補強工事、神田一ツ橋キャンパス再整備に伴う改修工事、共立女子中学高等学校ICT機器導入、本館4階食堂厨房機器導入等を行った。

【支出の部】

9. 人件費支出

予算比 97.5%の64億69百万円
(前年度決算比 Δ2億33百万円)

教員人件費45億38百万円、職員人件費12億15百万円、退職金6億86百万円となり、前年度比較で教員人件費は30百万円減、職員人件費は1億18百万円減となった。

10. 教育研究経費支出

予算比 97.3%の24億20百万円
(前年度決算比 Δ79百万円)

主な支出は、消耗品費、光熱水費、印刷費等各設置校および事務局の経常的な教育研究経費である。

11. 管理経費支出

予算比 90.4%の6億66百万円
(前年度決算比 +1億76百万円)

教育研究経費同様の経常的な管理経費である。神田4号館改修工事を含む。

12. 施設関係支出

予算比 99.4%の2億42百万円
(前年度決算比 +59百万円)

主な支出は、神田4号館改修工事、神田一ツ橋キャンパス再整備に伴う工事他である。

13. 設備関係支出

予算比 82.6%の1億58百万円
(前年度決算比 Δ1億7百万円)

教育研究用機器備品支出は、神田1号館・3号館の教育環境充実のための機器備品他である。管理用機器備品支出は、神田本館食堂厨房機器他である。

14. 資産運用支出

予算比 101.4%の25億35百万円
(前年度決算比 Δ2億86百万円)

特定資産へ25億35百万円を組み入れた。その内訳は、減価償却引当特定資産へ12億円、施設拡充引当特定資産へ11億円、教育活動充実引当特定資産へ2億円、奨学基金引当特定資産へ4百万円等である。

主な施設設備等事項

- ① 神田 4 号館新学部設置に伴う改修工事
- ② 神田 4 号館耐震診断及び耐震設計
- ③ 神田一ツ橋キャンパス再整備に伴う各所工事
- ④ 神田本館水令式パッケージエアコン更新工事
- ⑤ 神田本館食堂厨房機器導入
- ⑥ 共立女子中学高等学校 I C T 機器導入
- ⑦ 八王子 2 号館天井落下防止対策補強工事

(2) 活動区分資金収支計算書

表 2 の活動区分資金収支計算書とは、資金収支計算書に記載される資金収入および資金支出の決算額を、教育活動 (A)、施設整備等活動 (B)、その他の活動 (C) (主に財務活動) に区分して記載している。

この区分経理は、企業会計のキャッシュ・フロー計算書に相当するもので、区分ごとの資金の増加や減少を明確に表示する。教育活動資金収支差額 (A) は、学校の本来活動における収支差額でプラスになることが望ましいと言われている。

表 2 活動区分資金収支計算書

(単位:千円)

科 目		金 額	
教育活動による資金収支 (A)	収入	学生生徒等納付金収入	8,434,620
		手数料収入	295,390
		特別寄付金収入	58,448
		一般寄付金収入	28,755
		経常費等補助金収入	1,738,527
		付随事業収入	29,533
		雑収入	486,154
	教育活動資金収入計	11,071,427	
	支出	人件費支出	6,469,243
		教育研究経費支出	2,420,052
管理経費支出		665,437	
教育活動資金支出計	9,554,732		
差引	1,516,695		
調整勘定等	65,974		
教育活動資金収支差額	1,582,669		
施設整備等活動による資金収支 (B)	収入	施設設備補助金収入	87,840
		施設設備売却収入	54,000
		施設拡充引当特定資産取崩収入	532,000
		減価償却引当特定資産取崩収入	349,000
		教育活動充実引当特定資産取崩収入	59,000
	施設整備等活動資金収入計	1,081,840	
	支出	施設関係支出	241,629
		設備関係支出	158,449
		施設拡充引当特定資産繰入支出	1,100,000
		減価償却引当特定資産繰入支出	1,200,000
教育活動充実引当特定資産繰入支出		200,000	
施設整備等活動資金支出計	2,900,078		
差引	△ 1,818,238		
調整勘定等	23,478		
施設整備等活動資金収支差額	△ 1,794,760		
小計 (A+B)		△ 212,091	
その他の活動による資金収支 (C)	収入	貸付金回収収入	510
		小計	510
		受取利息・配当金収入	142,465
		その他の活動資金収入計	142,975
	支出	借入金等返済支出	83,330
		有価証券購入支出	31,173
		奨学基金引当特定資産繰入支出	3,782
		貸付金支払支出	250
		預り金支払支出	14,762
		小計	133,297
借入金等利息支出	8,333		
過年度修正支出	773		
その他の活動資金支出計	142,404		
差引	571		
その他の活動資金収支差額	571		
支払資金の増減額(A)+(B)+(C)		△ 211,520	
前年度繰越支払資金		3,809,942	
翌年度繰越支払資金		3,598,422	

注) 千円単位で表示するに当たり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合がある。

(3) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書とは、会計年度の事業活動ごと（教育活動、教育活動以外の経常的活動、前2区分以外の臨時的活動）の収入および支出の内容、および基本金組入後の収支の均衡の状態を明らかにし、貸借対照表とあわせて財産の健全性を表すものである。

表3 事業活動収支計算書

科目名		説明番号	2017年度 決算①	2018年度				対2017年度	
				予算②	決算③	増減額 ③-②	増減率(%) ③/②	増減額 ③-①	増減率(%) ③/①
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	8,660,248	8,456,920	8,434,620	△ 22,299	99.7%	△ 225,628	97.4%
		手数料	275,116	271,862	295,495	23,633	108.7%	20,379	107.4%
		寄付金	112,281	90,910	92,391	1,481	101.6%	△ 19,890	82.3%
		経常費等補助金	1,745,185	1,674,723	1,738,527	63,805	103.8%	△ 6,658	99.6%
		付随事業収入	24,224	22,310	29,533	7,223	132.4%	5,309	121.9%
		雑収入	576,474	480,738	486,154	5,416	101.1%	△ 90,320	84.3%
	教育活動収入計		11,393,527	10,997,462	11,076,720	79,258	100.7%	△ 316,807	97.2%
	支出	人件費	6,598,223	6,562,906	6,400,660	△ 162,246	97.5%	△ 197,563	97.0%
		(うち 退職給与引当金繰入額)	667,183	612,798	616,708	3,910	100.6%	△ 50,475	92.4%
		(うち 退職金)	1,300	0	1,200	1,200		△ 100	92.3%
		教育研究経費	4,049,925	3,950,287	3,888,438	△ 61,849	98.4%	△ 161,487	96.0%
		(うち 減価償却額)	1,548,761	1,462,500	1,463,997	1,497	100.1%	△ 84,764	94.5%
		管理経費	518,077	765,859	691,201	△ 74,658	90.3%	173,124	133.4%
		(うち 減価償却額)	27,848	28,920	24,967	△ 3,953	86.3%	△ 2,881	89.7%
徴収不能額等		200	0	192	192		△ 8		
教育活動支出計		11,166,424	11,279,051	10,980,490	△ 298,561	97.4%	△ 185,934	98.3%	
教育活動収支差額		227,104	△ 281,589	96,230	377,819	134.2%	△ 130,874	240.0%	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	129,413	140,247	143,485	3,238	102.3%	14,072	110.9%
		その他の教育活動外収入	0	0	263	263		263	
		教育活動外収入計	129,413	140,247	143,748	3,501	102.5%	14,335	111.1%
	支出	借入金等利息	10,000	8,333	8,333	0	100.0%	△ 1,667	83.3%
		その他の教育活動外支出	619	0	0	0		△ 619	
教育活動外支出計		10,618	8,333	8,333	0	100.0%	△ 2,285	78.5%	
教育活動外収支差額		118,795	131,914	135,415	3,501	102.7%	16,620	114.0%	
経常収支差額		345,899	△ 149,675	231,645	381,320	254.8%	△ 114,254	533.0%	
特別収支	収入	資産売却差額	1,049	0	0	0		△ 1,049	
		その他の特別収入	51,252	94,047	94,572	525	100.6%	43,320	184.5%
		特別収入計	52,301	94,047	94,572	525	100.6%	42,271	180.8%
	支出	資産処分差額	404,417	593,524	593,343	△ 181	100.0%	188,926	146.7%
		その他の特別支出	0	0	0	0		0	
		特別支出計	404,417	593,524	593,343	△ 181	100.0%	188,926	146.7%
特別収支差額		△ 352,117	△ 499,477	△ 498,771	706	99.9%	△ 146,654	141.6%	
〔予備費〕			(0)						
基本金組入前当年度収支差額		△ 6,218	△ 749,152	△ 267,126	482,026	35.7%	△ 260,908	4296.0%	
基本金組入額合計		0	0	0	0		0		
当年度収支差額		△ 6,218	△ 749,152	△ 267,126	482,026	35.7%	△ 260,908	4296.0%	
前年度繰越収支差額		△ 5,088,123	△ 4,766,781	△ 4,766,781	0	100.0%	321,342	93.7%	
基本金取崩額		327,560	298,808	333,258	34,450	111.5%	5,698	101.7%	
翌年度繰越収支差額		△ 4,766,781	△ 5,217,125	△ 4,700,649	516,476	90.1%	66,132	98.6%	

(参考)

事業活動収入計	11,575,241	11,231,756	11,315,040	83,284	100.7%	△ 260,201	97.8%
事業活動支出計	11,581,460	11,980,908	11,582,166	△ 398,742	96.7%	706	100.0%

注) 千円単位で表示するに当たり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合がある。

○基本金組み入れ額の内訳

第1号基本金 3億33百万円の取崩（当年度除却に伴う取崩）

第2号基本金 当年度組入額なし（将来取得する固定資産の取得に充てる預金等の資産の組入額）

第3号基本金 当年度組入額なし（学校法人共立女子学園国際交流基金）

第4号基本金 当年度組入額なし（恒常的に保持すべき資金として定められた額の組入額）

※事業活動収支計算書特有の科目について説明は以下のとおりである。

【教育活動収支】

<収入>

1. 寄付金

予算比 101.6%の 92 百万円
(前年度決算比 Δ 20 百万円)

寄付金には、現物寄付用品 514 万円、消耗品 5 万円を含む。

<支出>

2. 人件費

予算比 97.5%の 64 億円
(前年度決算比 Δ 1 億 98 百万円)

人件費には、退職給与引当金繰入額 6 億 17 百万円を含む。

3. 教育研究経費

予算比 98.4%の 38 億 88 百万円
(前年度決算比 Δ 1 億 61 百万円)

教育研究経費には、減価償却額 14 億 64 百万円を含む。

4. 管理経費

予算比 90.3%の 6 億 91 百万円
(前年度決算比 +1 億 73 百万円)

管理経費には、減価償却額 25 百万円を含む。

【特別収支】

<収入>

5. その他の特別収入

予算比 100.6%の 95 百万円
(前年度決算比 +43 百万円)

現物寄付教育研究用備品 670 万円、図書 3 万円を、施設設備補助金 88 百万円を含む。

<支出>

6. 資産処分差額

予算比 100%の 5 億 93 百万円
(前年度決算比 +1 億 89 百万円)

資産処分差額は、八王子土地一部売却に伴う土地処分差額 3 億 90 百万円、神田一ツ橋キャンパス各所改修等に伴う建物処分差額 16 百万円、機器備品、機械装置等の更新による教育研究用機器備品処分差額 4 百万円である。その他、図書処分差額は、1 億 81 百万円である。

事業活動収支は、事業活動収入計 113 億 15 百万円、事業活動支出計 115 億 82 百万円となった。基本金組入前当年度収支差額は、2 億 67 百万円の支出超過となった。また、基本金は 3 億 33 百万円取崩となり、翌年度への繰越収支差額は、47 億円の支出超過となったが、前年度比較で 66 百万円改善している。

なお、収支差額の経年推移については、『4.グラフによる説明』図 2、3 の通りである。

(4) 貸借対照表

貸借対照表とは、会計年度末における財政状態を明らかにしたもので、資産がどれくらいあるか、また負債がいくらあるか、学校法人が維持している純資産がどれくらいあるかを示したものである。

表4 貸借対照表

(単位:千円)

科目名	前年度末 ①	本年度末 ②	増減率(%)	
			増減額 ②-①	②/①
資産の部				
固定資産	48,663,585	48,498,011	△ 165,575	99.7%
有形固定資産	35,411,277	33,681,780	△ 1,729,497	95.1%
土地	11,713,700	11,269,562	△ 444,138	96.2%
建物	18,981,731	17,967,210	△ 1,014,521	94.7%
構築物	411,886	359,747	△ 52,138	87.3%
教育研究用機器備品	2,045,683	1,901,379	△ 144,304	92.9%
管理用機器備品	99,013	114,926	15,913	116.1%
図書	2,151,148	1,977,660	△ 173,488	91.9%
車輛	3,684	3,684	0	100.0%
舟艇	1,515	1,274	△ 240	84.1%
建設仮勘定	2,916	86,336	83,420	
特定資産	13,185,199	14,748,981	1,563,782	111.9%
第3号基本金引当特定資産	1,101,770	1,101,770	0	100.0%
退職給与引当特定資産	2,600,000	2,600,000	0	100.0%
減価償却引当特定資産	4,702,700	5,553,700	851,000	118.1%
施設拡充引当特定資産	3,099,900	3,667,900	568,000	118.3%
教育活動充実引当特定資産	1,415,400	1,556,400	141,000	110.0%
奨学基金引当特定資産	265,429	269,211	3,782	101.4%
その他の固定資産	67,110	67,250	140	100.2%
保証金	499	499	0	100.0%
電話加入権	6,126	6,126	0	100.0%
有価証券	60,000	60,000	0	100.0%
長期貸付金	485	625	140	128.9%
流動資産	4,401,284	4,119,347	△ 281,937	93.6%
現金預金	3,809,942	3,598,422	△ 211,520	94.4%
未収入金	569,661	467,861	△ 101,800	82.1%
短期貸付金	510	110	△ 400	21.6%
有価証券	14,841	48,070	33,230	
前払金	6,330	4,883	△ 1,447	77.1%
資産の部合計	53,064,869	52,617,357	△ 447,512	99.2%
負債の部／純資産の部				
固定負債	4,448,390	4,296,477	△ 151,913	96.6%
長期借入金	333,320	249,990	△ 83,330	75.0%
退職給与引当金	4,034,770	3,966,187	△ 68,583	98.3%
預り保証金	300	300	0	100.0%
土地長期預り保証金	80,000	80,000	0	100.0%
流動負債	1,608,703	1,580,229	△ 28,474	98.2%
短期借入金	83,330	83,330	0	100.0%
未払金	99,668	94,785	△ 4,883	95.1%
前受金	1,295,305	1,286,476	△ 8,829	99.3%
預り金	130,400	115,637	△ 14,762	88.7%
負債の部合計	6,057,092	5,876,706	△ 180,386	97.0%
基本金	51,774,558	51,441,300	△ 333,258	99.4%
第1号基本金	49,917,788	49,584,530	△ 333,258	99.3%
第3号基本金	1,101,770	1,101,770	0	100.0%
第4号基本金	755,000	755,000	0	100.0%
繰越収支差額	△ 4,766,781	△ 4,700,649	66,132	98.6%
翌年度繰越収支差額	△ 4,766,781	△ 4,700,649	66,132	98.6%
純資産の部合計	47,007,777	46,740,651	△ 267,126	99.4%
負債及び純資産の部合計	53,064,869	52,617,357	△ 447,512	99.2%

注) 千円単位で表示するに当たり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合がある。

1. 資産の部

固定資産は、前年度末より1億66百万円減の484億98百万円となった。有形固定資産は土地の一部売却による54百万円減を含み前年度末より17億29百万円減となった。特定資産は前年度末より15億64百万円増147億49百万円となった。

流動資産は、現金預金、未収入金等で、前年度末より2億82百万円減の41億19百万円となった。

2. 負債の部

固定負債は、長期借入金、退職給与引当金の減少により前年度末より1億52百万円減の42億96百万円となった。

流動負債は、入学生の前受金、未払金、預り金等で前年度末より28百万円減の15億80百万円となった。負債の部合計は、前年度末より1億80百万円減の58億77百万円となった。

3. 純資産の部

基本金は、第1号基本金が土地の一部売却等により前年度末より3億33百万円減の495億85百万円となり、合計514億41百万円となった。

繰越収支差額は、前年度までの累積の繰越収支差額△47億67百万円に対し、当年度の事業活動の結果、翌年度繰越収支差額は、前年度末より66百万円増の△47億1百万円となった。

2. 経年比較

(1) 資金収支経年比較表

(収入の部)		(単位 千円)				
科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
学生生徒等納付金収入	8,200,576	8,334,621	8,640,911	8,660,248	8,434,620	
手数料収入	215,357	231,688	256,359	275,116	295,390	
寄付金収入	101,349	116,504	141,833	110,381	87,203	
補助金収入	1,552,117	1,991,949	1,670,526	1,779,189	1,826,367	
資産売却収入	0	30,000	0	201,374	54,000	
付随事業・収益事業収入	20,464	20,918	19,374	24,224	29,533	
受取利息・配当金収入	191,343	143,648	94,036	128,640	142,465	
雑収入	572,522	521,872	497,229	576,474	486,154	
借入金等収入	0	0	0	0	0	
前受金収入	1,444,605	1,489,680	1,487,962	1,295,305	1,286,476	
その他の収入	2,965,741	2,991,701	5,378,626	1,626,481	1,510,026	
資金収入調整勘定	△ 1,919,865	△ 2,342,432	△ 1,937,012	△ 2,057,477	△ 1,763,212	
前年度繰越支払資金	3,633,236	3,620,028	4,258,362	4,229,457	3,809,942	
収入の部合計	16,977,445	17,150,178	20,508,206	16,849,410	16,198,963	
(支出の部)		(単位 千円)				
科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
人件費支出	7,005,921	6,956,092	6,764,849	6,702,731	6,469,243	
教育研究経費支出	2,436,413	2,453,708	2,705,398	2,499,263	2,420,052	
管理経費支出	552,680	509,200	565,237	490,231	666,211	
借入金等利息支出	14,999	13,333	11,666	10,000	8,333	
借入金等返済支出	83,330	83,330	83,330	83,330	83,330	
施設関係支出	1,906,009	1,864,624	3,134,315	182,270	241,629	
設備関係支出	171,947	138,992	1,015,072	265,484	158,449	
資産運用支出	1,210,000	800,000	2,000,000	2,820,889	2,534,955	
その他の支出	119,771	155,348	91,024	90,445	120,001	
資金支出調整勘定	△ 143,654	△ 82,811	△ 92,143	△ 105,173	△ 101,662	
翌年度繰越支払資金	3,620,028	4,258,362	4,229,457	3,809,942	3,598,422	
支出の部合計	16,977,445	17,150,178	20,508,206	16,849,410	16,198,963	

※ 千円単位で表示するに当たり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合がある。

※ 2014年度の数値は、旧基準の資金収支計算書を新基準の資金収支計算書に組替えた参考値である。

(2) 事業活動収支経年比較表

		(単位 千円)					
		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
教育活動収支	収入の活動	学生生徒等納付金	8,200,576	8,334,621	8,640,911	8,660,248	8,434,620
		手数料	215,357	231,688	256,359	275,116	295,495
		寄付金	101,349	118,214	148,816	112,281	92,391
		経常費等補助金	1,552,117	1,599,151	1,670,526	1,745,185	1,738,527
		付随事業収入	20,465	20,918	19,374	24,224	29,533
	支出の活動	雑収入	572,522	521,872	497,229	576,474	486,154
		教育活動収入計	10,662,385	10,826,465	11,233,215	11,393,527	11,076,720
		人件費	6,818,476	6,890,513	6,690,072	6,598,223	6,400,660
		教育研究経費	3,860,385	3,818,853	4,120,392	4,049,925	3,888,438
		管理経費	583,794	529,718	585,013	518,077	691,201
徴収不能額等	0	0	0	200	192		
教育活動支出計	11,262,655	11,239,084	11,395,477	11,166,424	10,980,490		
教育活動収支差額	△ 600,269	△ 412,619	△ 162,263	227,104	96,230		
教育活動外収支	収入の活動	受取利息・配当金	191,343	143,648	94,036	129,413	143,485
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	263
	教育活動外収入計	191,343	143,648	94,036	129,413	143,748	
	支出の活動	借入金等利息	14,999	13,333	11,666	10,000	8,333
		その他の教育活動外支出	0	0	0	619	0
教育活動外支出計	14,999	13,333	11,666	10,618	8,333		
教育活動外収支差額	176,343	130,315	82,370	118,795	135,415		
経常収支差額	△ 423,926	△ 282,304	△ 79,892	345,899	231,645		
特別収支	収入の活動	資産売却差額	0	0	0	1,049	0
		その他の特別収入	10,079	398,132	10,222	51,252	94,572
		特別収入計	10,079	398,132	10,222	52,301	94,572
	支出の活動	資産処分差額	32,981	939,603	186,423	404,417	593,343
		その他の特別支出	0	6,618	6,991	0	0
特別支出計	32,981	946,221	193,414	404,417	593,343		
特別収支差額	△ 22,902	△ 548,089	△ 183,191	△ 352,117	△ 498,771		
基本金組入前当年度収支差額	△ 446,828	△ 830,393	△ 263,084	△ 6,218	△ 267,126		
基本金組入額合計	△ 2,018,836	0	△ 3,856,775	0	0		
当年度収支差額	△ 2,465,664	△ 830,393	△ 4,119,859	△ 6,218	△ 267,126		
前年度繰越収支差額	△ 1,675,199	△ 4,140,864	△ 1,042,264	△ 5,088,123	△ 4,766,781		
基本金取崩額	0	3,928,993	74,000	327,560	333,258		
翌年度繰越収支差額	△ 4,140,864	△ 1,042,264	△ 5,088,123	△ 4,766,781	△ 4,700,649		
(参考)							
事業活動収入計	10,863,808	11,368,245	11,337,473	11,575,241	11,315,040		
事業活動支出計	11,310,635	12,198,638	11,600,557	11,581,460	11,582,166		

※ 千円単位で表示するに当たり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合がある。

※ 2014年度の数値は、旧基準の消費収支計算書を新基準の事業活動収支計算書に組替えた参考値である。

(3) 貸借対照表経年比較表

(単位 千円)

資産の部					
科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
固定資産	50,697,615	48,695,480	48,377,969	48,663,585	48,498,011
有形固定資産	34,933,451	34,582,227	37,127,626	35,411,277	33,681,780
特定資産	15,694,770	14,043,770	11,182,770	13,185,199	14,748,981
その他の固定資産	69,394	69,484	67,574	67,110	67,250
流動資産	4,167,998	5,163,826	5,059,125	4,401,284	4,119,347
資産の部合計	54,865,613	53,859,307	53,437,095	53,064,869	52,617,357

負債の部					
科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
固定負債	4,943,244	4,794,335	4,636,228	4,448,390	4,296,477
流動負債	1,814,897	1,787,893	1,786,872	1,608,703	1,580,229
負債の部合計	6,758,141	6,582,228	6,423,099	6,057,092	5,876,706

純資産の部					
科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
基本金	52,248,336	48,319,343	52,102,118	51,774,558	51,441,300
繰越収支差額	△ 4,140,864	△ 1,042,264	△ 5,088,123	△ 4,766,781	△ 4,700,649
純資産の部合計	48,107,472	47,277,079	47,013,995	47,007,777	46,740,651
負債及び純資産の部合計	54,865,613	53,859,307	53,437,095	53,064,869	52,617,357

※ 千円単位で表示するに当たり、千円未満を四捨五入しているため、合計等において差異が生じる場合がある。

※ 2014年度の数値は、旧基準の消費収支計算書を新基準の事業活動収支計算書に組替えた参考値である。

3. 財務比率経年比較 (2014年度～2018年度)

(1) 貸借対照表関係比率

※全国平均は「医歯系法人を除く」(『今日の私学財政』2018年度版)

		2014	2015	2016	2017	2018	全国平均	
自己資金は 充実させているか	純資産構成比率 (自己資金構成比率)	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$ ※1	△ 87.7%	87.8%	88.0%	88.6%	88.8%	87.8%
	繰越収支差額構成比率 (消費収支差額構成比率)	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$ ※2	△ -7.5%	-1.9%	-9.5%	-9.0%	-8.9%	-14.5%
	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	△ 98.7%	98.8%	99.0%	99.2%	99.4%	97.3%
資産構成は どうなっているか	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	▼ 92.4%	90.4%	90.5%	91.7%	92.2%	86.6%
	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	△ 7.6%	9.6%	9.5%	8.3%	7.8%	13.4%
負債の割合はどうか	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$ ※3	▼ 9.0%	8.9%	8.7%	8.4%	8.2%	6.8%
	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$ ※4	▼ 3.3%	3.3%	3.3%	3.0%	3.0%	5.4%
長期資金で固定資産は 賄われているか	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$ ※5	▼ 105.4%	103.0%	102.9%	103.6%	103.8%	98.7%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}+\text{固定負債}}$ ※6	▼ 95.6%	93.5%	93.7%	94.5%	95.0%	91.6%
負債に備える資産が 蓄積されているか	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	△ 229.7%	288.8%	283.1%	273.6%	260.7%	248.3%
	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	△ 250.6%	285.9%	284.2%	294.1%	279.7%	354.2%
運用資産の保有状況は どうなっているか	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$ ※7	69.4%	66.4%	53.7%	56.8%	58.8%	78.6%

(注)算出式は新基準(2015～)の財務比率算出式になっている。()は旧基準(2014)の財務比率の名称になっている。

△は、高い値が望ましい。▼は、低い値が望ましい。

(日本私立学校振興・共済事業団発行『今日の私学財政』2018年度版から引用)

※1 旧基準では、自己資金÷総資金。自己資金＝基本金＋消費収支差額

※2 旧基準では、消費収支差額÷総資金。総資金＝負債＋基本金＋消費収支差額

※3 旧基準では、固定負債÷総資金。

※4 旧基準では、流動負債÷総資金。

※5 旧基準では、固定資産÷自己資金。

※6 旧基準では、固定資産÷(自己資金＋固定負債)。

※7 運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券。要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋第2号基本金＋第3号基本金。

(2) 事業活動収支計算書関係比率

※全国平均は「医歯系法人を除く」(『今日の私学財政』2018年度版)

			2014	2015	2016	2017	2018	全国平均
経営状況はどうか	事業活動収支差額比率 (帰属収支差額比率)	基本金組入前当年度収支差額 ^{※1} 事業活動収入	△ -4.1%	-7.3%	-2.3%	-0.1%	-2.4%	4.9%
収入構成はどうか	①学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 ^{※2} 経常収入	~ 75.5%	76.0%	76.3%	75.2%	75.2%	74.7%
	②補助金比率	補助金 ^{※3} 事業活動収入	△ 14.3%	17.5%	14.7%	15.4%	16.1%	12.5%
	寄付金比率	寄付金 ^{※4} 事業活動収入	△ 1.0%	1.1%	1.3%	1.0%	0.8%	2.3%
支出構成は適切であるか	③人件費比率	人件費 ^{※5} 経常収入	▼ 62.8%	62.8%	59.0%	57.3%	57.0%	53.8%
	④教育研究経費比率	教育研究経費 ^{※6} 経常収入	△ 35.5%	34.8%	36.3%	35.1%	34.7%	33.3%
	⑤管理経費比率	管理経費 ^{※7} 経常収入	▼ 5.4%	4.8%	5.2%	4.5%	6.2%	8.8%
	借入金等利息比率	借入金等利息 ^{※8} 経常収入	▼ 0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
収入と支出のバランスはとれているか	⑥人件費依存率	人件費 ^{※9} 学生生徒等納付金	▼ 83.1%	82.7%	77.4%	76.2%	75.9%	71.9%
	基本金組入後収支比率 (消費収支比率)	事業活動支出 ^{※9} 事業活動収入-基本金組入額	▼ 127.9%	107.3%	153.6%	100.1%	102.4%	106.5%

(注)算出式は新基準(2015~)の財務比率算出式になっている。()は旧基準(2014)の財務比率の名称になっている。

△は、高い値が望ましい。▼は、低い値が望ましい。~は、どちらともいえない。(事業団『今日の私学財政』2018年度版から引用)

※1 旧基準では、(帰属収入-消費支出)÷帰属収入。

※2 旧基準では、学生生徒等納付金÷帰属収入。

※3 旧基準では、補助金÷帰属収入。

※4 旧基準では、寄付金÷帰属収入。

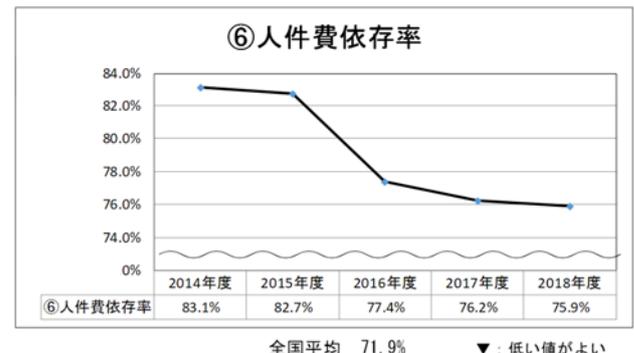
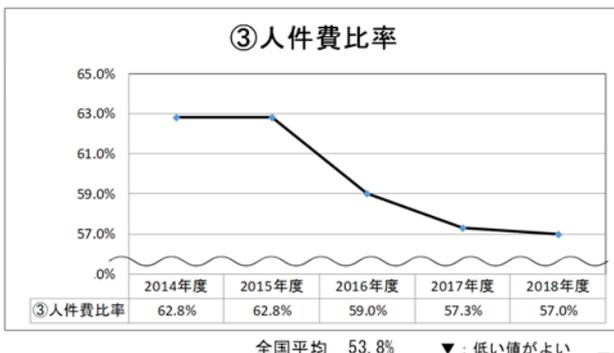
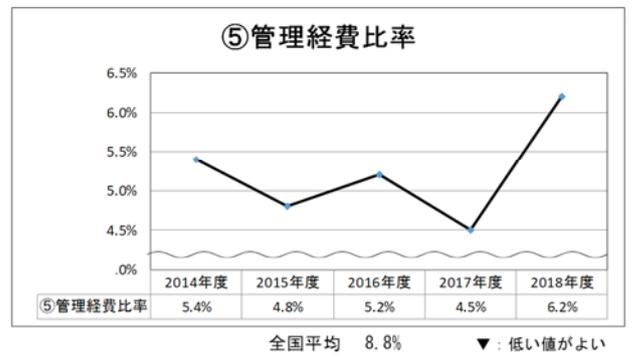
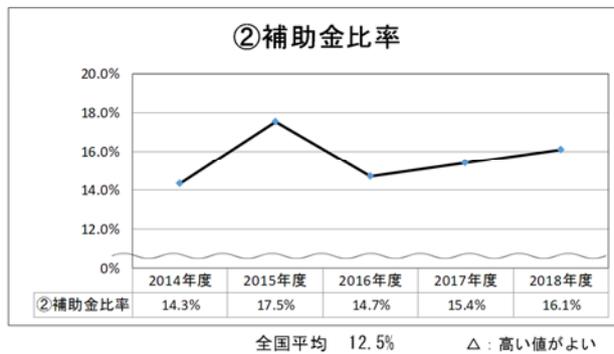
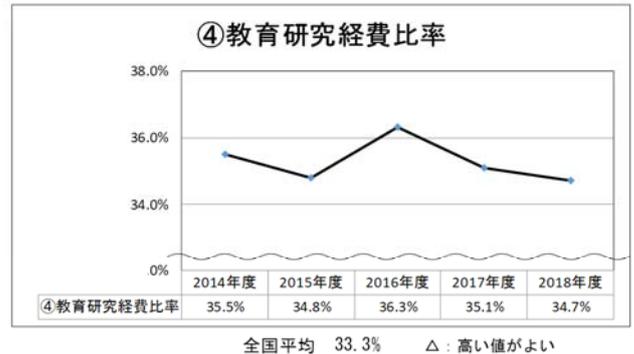
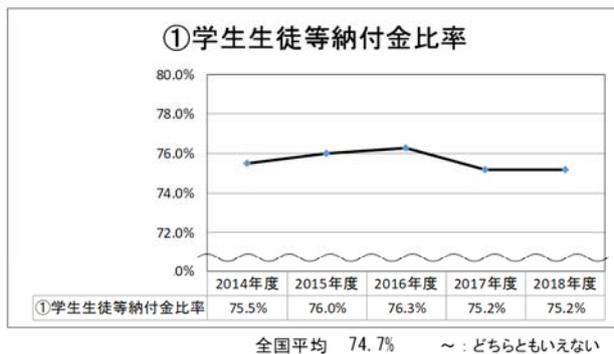
※5 旧基準では、人件費÷帰属収入。

※6 旧基準では、教育研究経費÷帰属収入。

※7 旧基準では、管理経費÷帰属収入。

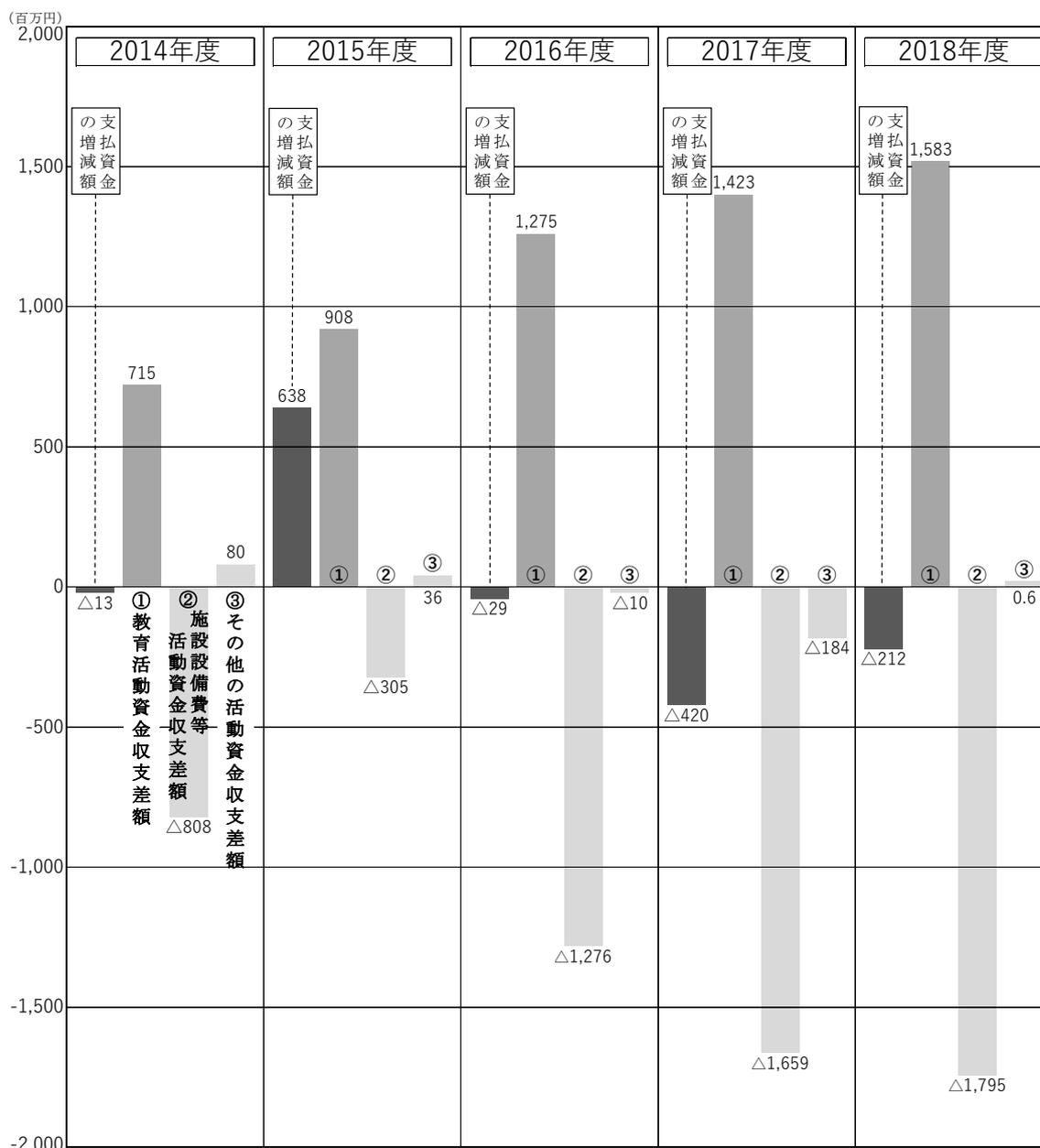
※8 旧基準では、借入金等利息÷帰属収入。

※9 旧基準では、消費支出÷消費収入。



4. グラフによる説明

図1 支払資金の増減額と活動区分ごとの収支差額経年比較



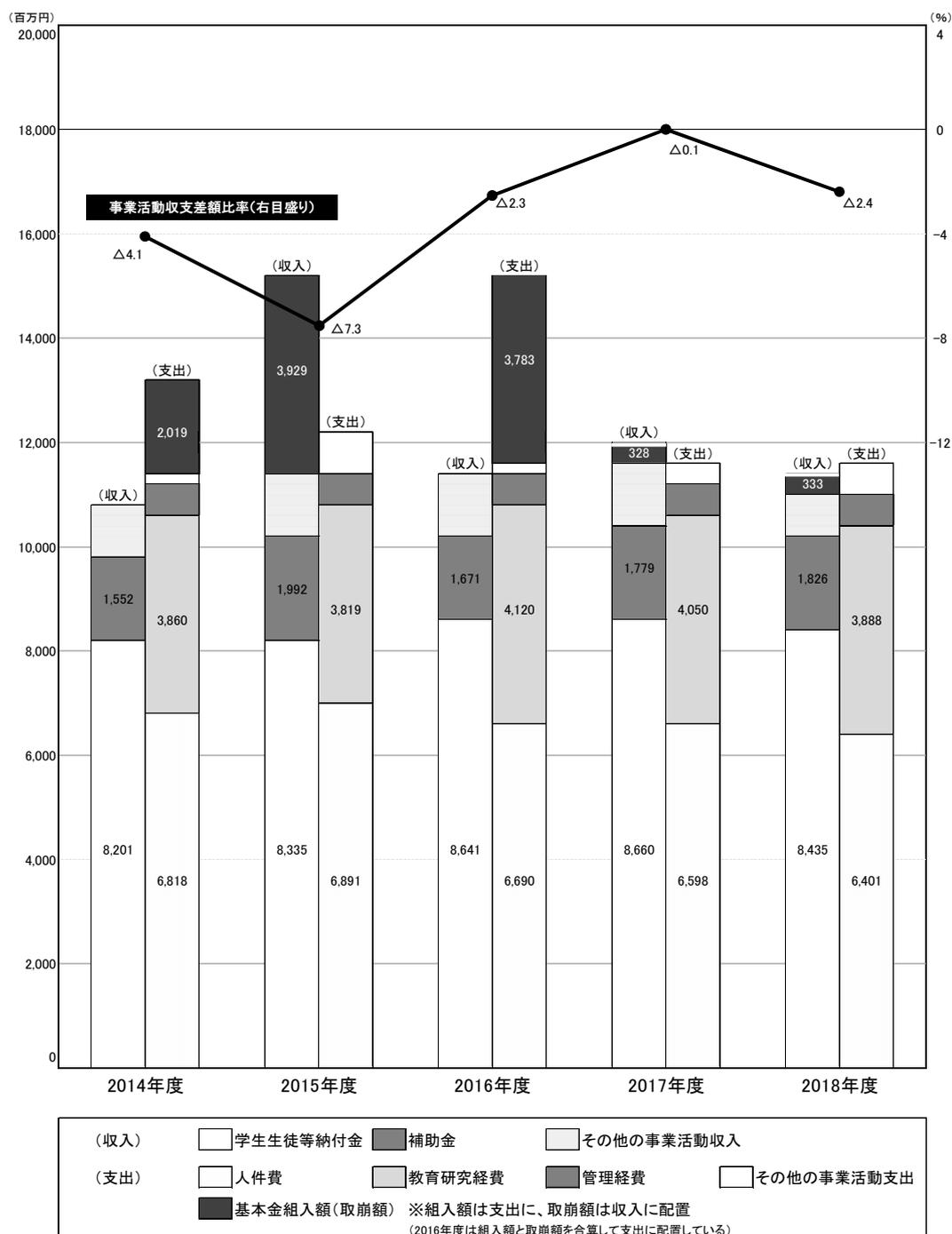
(注) 2014年度は、資金収支計算書を組み替えて疑似的に作成した活動区分資金収支計算書からの数字で作成している。

【補足説明】

その会計年度の事業活動によって生じたすべての収入と支出とその年度末時点における支払資金の増減事由を説明する計算書が「資金収支計算書」である。資金収支計算書を組み替えて、資金の収入と支出を①教育活動、②施設設備等活動、③その他の活動の3つに区分した「活動区分資金収支計算書」では学校法人経営においては、①教育活動でどのくらいの余剰資金を生み出しているかが重要であるとされている。

このグラフでは、各年度の支払資金の増減額を左の棒グラフ（黒色）で表示し、その内訳として3つの区分それぞれの収支差額をその右側①②③の棒グラフ（グレー）で表示している。

図2 事業活動収支と事業活動収支差額比率の推移

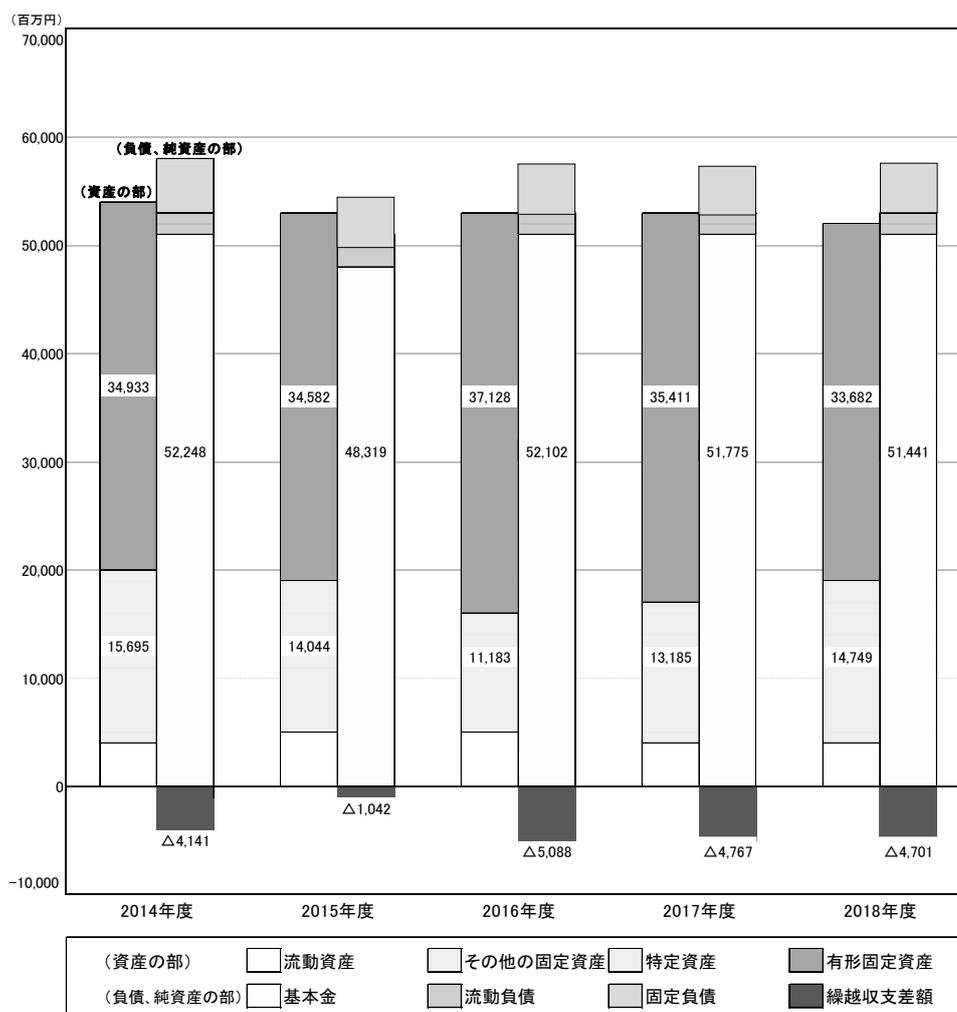


【補足説明】

事業活動収支計算書の役割は、1年間の3つの活動区分（教育活動、教育活動以外の経常的な活動、その他の活動）に集計される事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにすることにある。それに加え、基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにする。この事業活動収支計算書は、一般企業の会計でいえば損益計算書に相当する。ただし、学校法人は収支均衡を目指す非営利法人であり、本来は儲けを追求していないため、利益や損失という言葉は使わず「収支差額」と表示する。

棒グラフは、事業活動収支計算書の収入と支出を経年で表示している。黒色部分の基本金組入額（取崩額）を除いた収支差額が、毎年度の事業活動における収支状況を表す（＝基本金組入前当年度収支差額）。この収支差額から基本金を組み入れた（黒色部分を含む）収支差額が、最終的な当年度の収支状況となり、学校法人の永續維持の観点からは収支均衡が求められる。折れ線グラフは、事業活動収入における（基本金組入前の）収支差額の比率を示している。学校法人経営では、基本金組入額を確保するためにこの比率をプラスにする必要がある。

図3 貸借対照表の構成比率の経年推移



【補足説明】

貸借対照表の左側（借方）には、学校が有する固定資産、預金などの資産が表示される。学校法人が持っているプラスの財産の一覧である。右側（貸方）には、財産の支払方法、言い換えれば資金調達方法が表示される。負債は借入金等の「他人資本」、純資産は「自己資本」を表している。この貸借対照表は、会計年度末時点での残高を示している。資金収支計算書、事業活動収支計算書が単年度の活動の集計であるのに対し、貸借対照表は学校法人設立以来累計された資産、負債、純資産の残高を表している。

グラフでは、各年度末時点の資産の合計を左の棒に、負債と純資産の合計を右の棒にて表示している。この2本の積上げ棒グラフの高さの差が、毎年度累積された「繰越収支差額」となる。「資産の部」<「負債、純資産の部」となると翌年度への繰越収支差額がマイナスであるということになる。貸借対照表の翌年度繰越収支差額は、事業活動収支計算書における翌年度繰越収支差額と一致する。

5. その他

(1) 借入金の状況

借入金総額 333,320 千円 借入先 日本私立学校振興・共済事業団

(2) 寄付金の状況

寄付金総額 99,122 千円

6. 決算期後に生じた学校法人の状況に関する重要な事案

なし